不登校のこども・保護者に対するアンケート調査報告書（概要版）

調査の目的

現在の状況・困りごとを調査し、こどもと保護者の意見を参考に施策を検討するため

調査内容

年齢等に応じ、調査を実施（小学生低学年・小学生高学年・中学生・保護者）

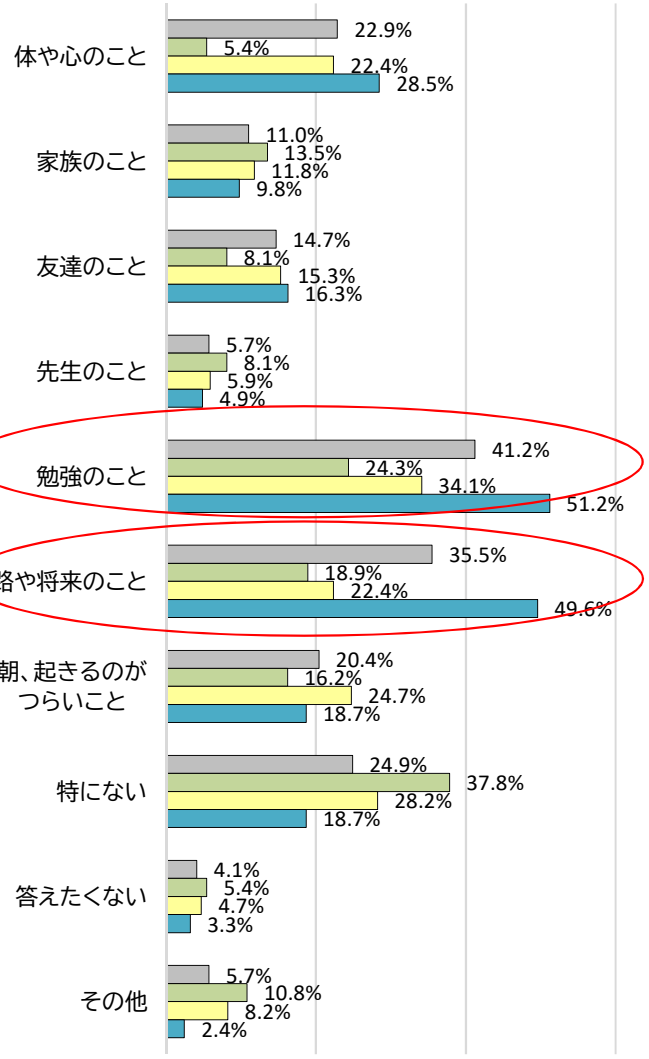
①対象	令和7年度または令和8年度に不登校（病気以外）で概ね30日以上休んだ児童生徒及びその保護者
②調査期間及び方法	学校から配布し、令和8年8月1日（土）～8月24日（月）に回答（紙またはWEB）
③質問内容	【こども】困っていることや心配なこと、勉強方法、あったらいいと思う支援　など 【保護者】心配なこと、あればいいと思うこと、期待される保護者への支援　など

配布及び回収状況

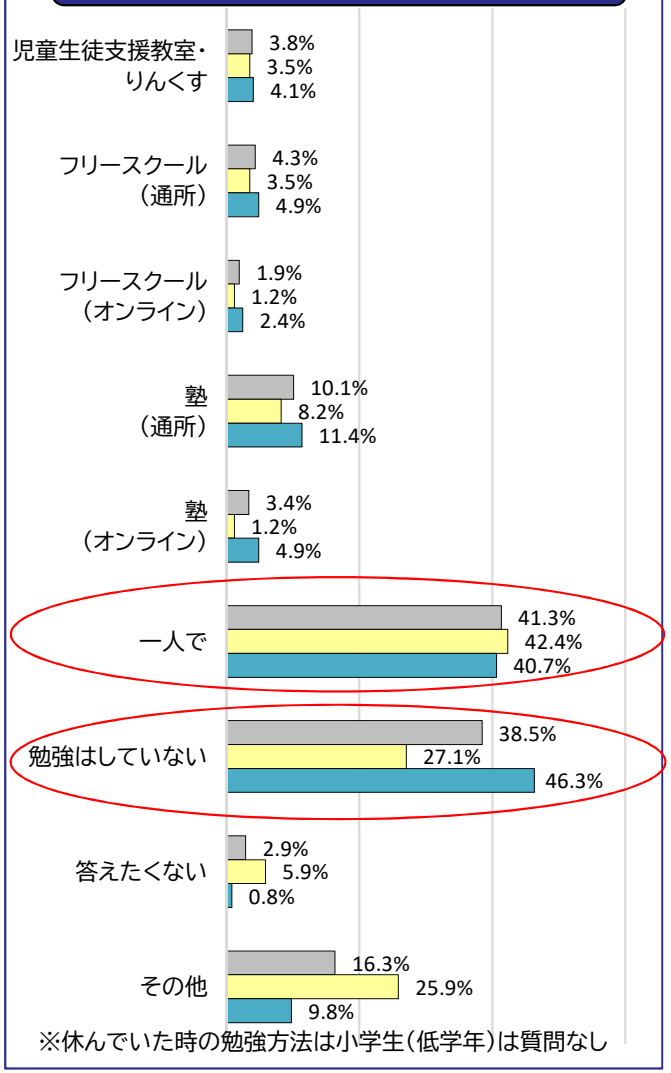
種類	配付人数	有効回答数			有効回答率		
		紙	WEB	全体	紙	WEB	全体
小学生低学年（小1-小3）	131人	20件	17件	37件	15.3%	13.0%	28.2%
小学生高学年（小4-小6）	384人	56件	29件	85件	14.6%	7.6%	22.1%
中学生	726人	63件	60件	123件	8.7%	8.3%	16.9%
保護者	1, 241人	152件	125件	277件	12.2%	10.1%	22.3%
合計	2,482人	291件	231件	522件	11.7%	9.3%	21.0%

こどもに対するアンケート結果（主なもの）

①困っていることや心配なこと

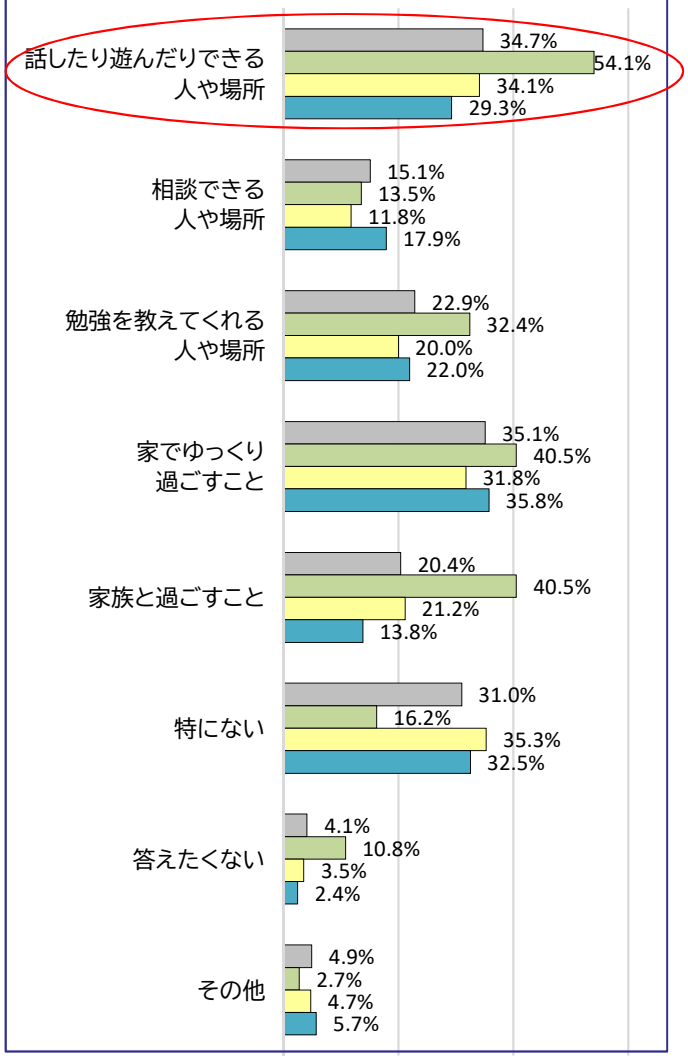


②休んでいたときの勉強方法



※休んでいた時の勉強方法は小学生（低学年）は質問なし

③あったらいいと思う支援



まとめ

① 困っていることや心配なこととしては、**学年が上がるにつれて、「勉強のこと」、「進路や将来のこと」が多くなっている。**

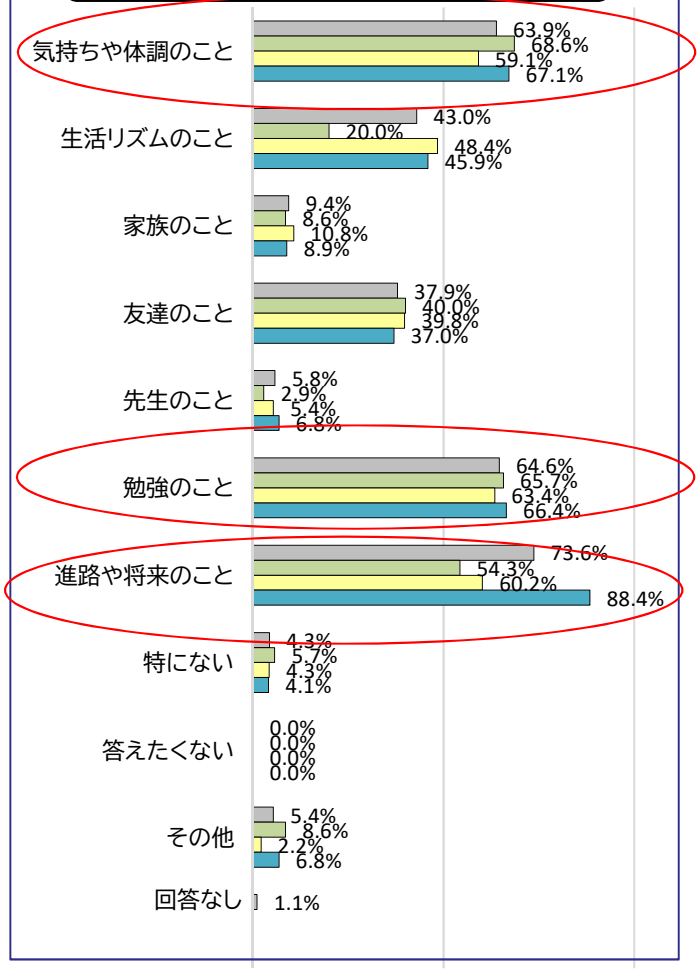
② 休んでいたときの勉強方法としては、「一人でする」が多い一方、「していない」も多い。

③ あったらいい支援としては、特に**低学年について、「話したり遊んだりできる人や場所」が多い。**

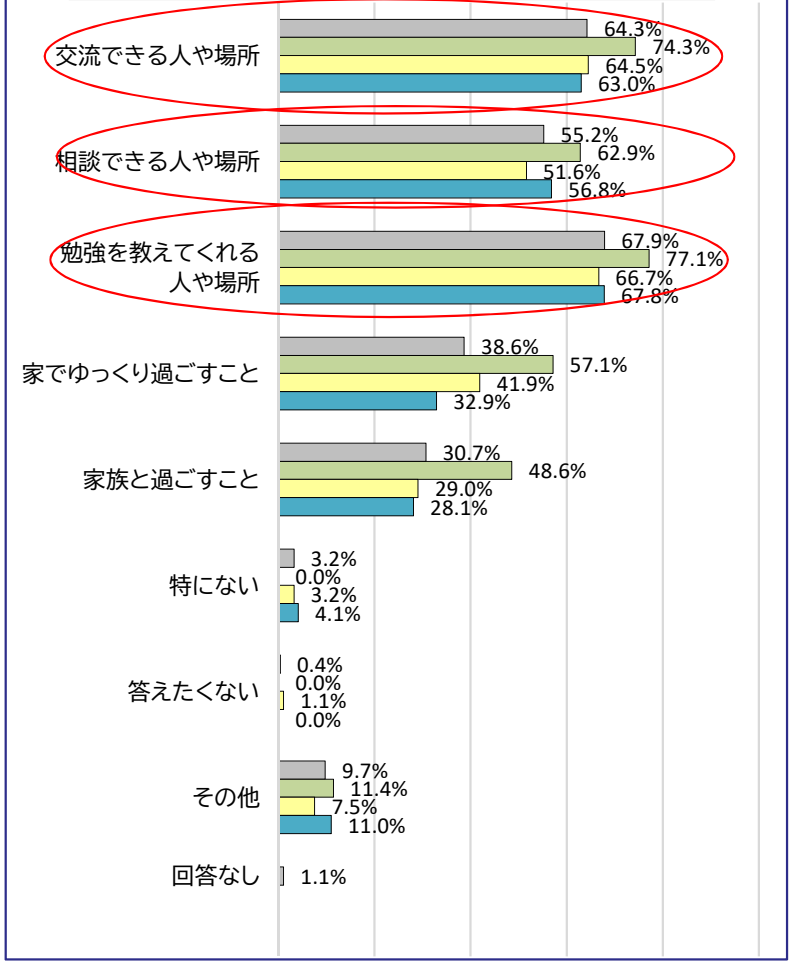
全体 (n=245)
小学生低学年(n=37)
小学生高学年 (n=85)
中学生(n=123)

保護者に対するアンケート結果（主なもの）

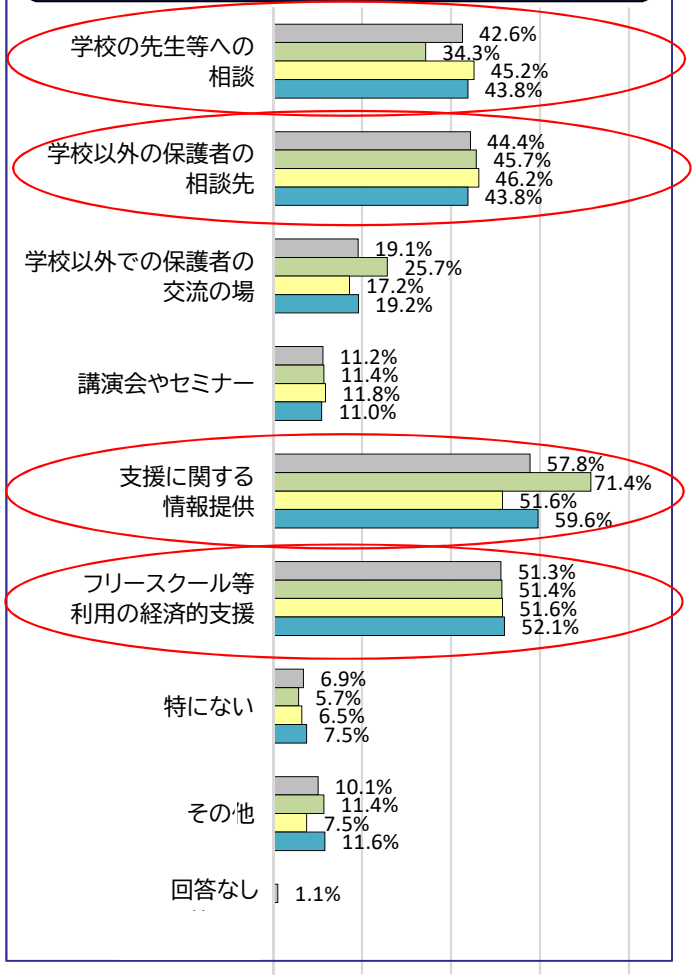
①こどものことで心配なこと



②こどもにあればいいと思うこと



③期待される保護者へのサポート



まとめ

① こどものことで心配なこととしては、**全ての区分で「気持ちや体調のこと」「勉強のこと」が多くなっている。学年が上がるにつれて「進路や将来のこと」が多くなる。**

② こどもにあればいいと思うこととしては、**「交流できる人や場所」「相談できる人や場所」「勉強を教えてくれる人や場所」が多い。**

③ 期待される保護者へのサポートとしては、**「支援に関する情報提供」「フリースクール等利用の経済的支援」が多く、「学校の先生等への相談」と同程度に「学校以外の保護者の相談先」が多くなっている。**

保護者全体 (n=277)
小学生低学年保護者(n=35)
小学生高学年 保護者(n=93)
中学生保護者(n=146)

アンケートから分かったこと

こどもも 保護者も 不安や悩みの中で 未来への道を探している。

○ 休むことでほっとしているこどもが多いが、不安を感じているこどもも多い。

○ 家で過ごしているこどもが多いが、学校に行きたいと思っているこどもや人との交流を求めているこどもも多い。

○ 年齢が大きくなるにつれて、勉強のことや進路・将来のことが心配。

○ 学校への期待も大きいが、学校以外での支援も求められている。

～自由記述より～
○先生には感謝している。
○担任の先生以外にも相談したい。
○フリースクールで自信が持てた。
○アンケートをしてくれてよかった。

求められる支援

こどもをゆっくり休ませ、保護者を支える支援

- 話を聞く
- ほしい情報を提供
- 保護者の不安に寄り添う



新たな一歩を踏み出すための支援

- どこにいても学べる仕組み
- 地域や人とのつながり
- 学校とのつながり

